

【篠研】日本語教師篠崎大司研究室

日本語教育能力検定試験

キーワード

一問一答

2017年度版

はじめに

本書は、通信講座「篠研の日本語教育能力検定試験対策」で2016年9月から2017年8月までに配信された講義資料の「チェックテスト“キーワード30”」1～21に、若干の加筆修正を加えてまとめたもので、日本語教育能力検定試験（以下、検定試験。）全出題範囲の中から重要なキーワードを一問一答形式でまとめたものです。本書を繰り返し読み込んでいただくことによって、検定試験頻出キーワードをマスターすることができます。

ぜひ、本書を最大限活用なされ、検定試験の合格切符を手にしてください！！

本書の使い方

④

①

③

②

チェックテスト“キーワード30” 1

【出題範囲】言語の種類／言語の系統概説／世界の諸言語（1）／世界の諸言語（2）／一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／理論言語学・応用言語学

<input type="checkbox"/> 1	ある言語のもとになった一世代上の言語を（ ）といます。	祖語
<input type="checkbox"/> 2	（ ）は、フィリピンで話されている言語です。	タガログ語
<input type="checkbox"/> 3	（ ）とは、話し手が話している途中でその先まで予測して、それを話し手が言う前に先取りをして聞き手が言うてしまうことです。	先取り発話
<input type="checkbox"/> 4	（ ）は、語族の中で最も勢力の大きなもので、ヨーロッパのほぼ全域から南インド、さらにはロシアの極東地域まで広く分布しています。	インド・ヨーロッパ語族

- ①出題範囲を確認します。
- ②問題を解く前に、答えの部分を隠します。
- ③（ ）の中に入るキーワードを考えます。
- ④覚えたら□にチェックを入れます。

著作権について

本書は著作権法で保護されている著作物であり、著作権は篠崎大司に属します。

著作権者の許可なく、本書の全部又は一部を紙媒体をはじめ電子媒体（インターネット）などいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った場合やその他不正行為に該当する行為を行った場合は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

目次

	出題範囲	P
チェックテスト“キーワード30” 1	言語の種類／言語の系統概説／世界の諸言語(1)／世界の諸言語(2)／一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／理論言語学・応用言語学	4～5
チェックテスト“キーワード30” 2	日本語の構造／品詞分類に関する諸学説／品詞概論	6～7
チェックテスト“キーワード30” 3	日本語の音声／日本語の子音とその周辺／日本語のプロソディ／日本語の音声の諸現象／形態論概説／形態論演習／語彙論概説／語彙論演習	8～9
チェックテスト“キーワード30” 4	助詞各論／動詞・形容詞各論／テンス／アスペクト／ヴォイス	10～11
チェックテスト“キーワード30” 5	モダリティ表現の諸問題(1)／モダリティ表現の諸問題(2)／モダリティ表現の諸問題(3)／その他の重要構文／複文の諸問題／談話文法の諸問題	12～13
チェックテスト“キーワード30” 6	文字と表記概論／現代日本語の正書法(1)／現代日本語の正書法(2)／現代日本語の正書法(3)／現代日本語の正書法(4)／文字と表記演習	14～15
チェックテスト“キーワード30” 7	意味体系／語用論的規範／日本語史／コミュニケーション能力	16～17
チェックテスト“キーワード30” 8	教育現場の基礎知識／初級の指導法／初中級の指導法／中上級の指導法／レベル別読解指導法	18～19
チェックテスト“キーワード30” 9	レベル別聴解指導法／レベル別会話指導法／レベル別作文指導法／レベル別日本事情指導法／レベル別文型指導法／レベル別語彙指導法／レベル別文字・表記指導法／音声の指導法／描画の技術／コースデザイン・カリキュラム編成	20～21
チェックテスト“キーワード30” 10	語学教授法の変遷／さまざまな教授法(1)／さまざまな教授法(2)／さまざまな教授法(3)／教材分析・開発／教室・言語環境の設定	22～23
チェックテスト“キーワード30” 11	評価法概論／テスト作成の実際(1)／テスト作成の実際(2)／評価の実際／教育実技(実習)／自己点検・授業分析能力	24～25
チェックテスト“キーワード30” 12	誤用分析概論／表記・音声の誤用分析／文法の誤用分析(1)／文法の誤用分析(2)／留学生に対する指導法／外国人ビジネスピープルに対する指導法／外国人児童生徒に対する指導法／技能実習生／EPA 看護師・介護福祉士に対する指導法教育	26～27

チェックテスト“キーワード 30” 13	日本語能力試験対策の指導法／日本留学試験対策の指導法／BJT ビジネス日本語能力テスト対策の指導法／異文化間教育・多文化教育／国際・比較教育／国際理解教育／コミュニケーション教育／異文化受容訓練／学習者の権利	28～30
チェックテスト“キーワード 30” 14	データ処理／メディア／情報技術活用能力（リテラシー）／学習支援・促進者（ファシリテータ）の養成／教材開発・選択／知的所有権問題／教育工学	32～33
チェックテスト“キーワード 30” 15	予測・推測能力／談話理解／記憶・視点／心理言語学・認知言語学	34～35
チェックテスト“キーワード 30” 16	習得過程（第一言語・第二言語）／中間言語／二言語併用主義（バイリンガリズム）／ストラテジー（学習方略）／学習者タイプ	36～37
チェックテスト“キーワード 30” 17	社会的技能・技術（スキル）／異文化受容・適応／日本語教育・学習の情意的側面／日本語教育と障害者教育／社会文化能力／言語接触・言語管理／言語政策／各国の教育制度・教育事情／社会言語学・言語社会学	38～39
チェックテスト“キーワード 30” 18	言語変種／待遇・敬意表現【基礎項目】／言語・非言語行動【基礎項目】／コミュニケーション学／言語・文化相対主義／二言語併用主義（バイリンガリズム（政策））／多文化・多言語主義【基礎項目】／アイデンティティ（自己確認、帰属意識）	40～41
チェックテスト“キーワード 30” 19	諸外国・地域と日本／日本の輪郭／日本社会の外国人／日本語教育関係機関／異文化適応・調整／人口の移動／児童生徒の文化間移動／日本人論	42～43
チェックテスト“キーワード 30” 20	戦前の日本語教育（19世紀以前）／戦中の日本語教育（19世紀～1945年）／戦後の日本語教育（1945年～現在）／日本語教育と国語教育／言語政策	44～45
チェックテスト“キーワード 30” 21	日本語の教育哲学／日本語及び日本語教育に関する試験／日本語教育事情／日本語教員の資質・能力	46～47

チェックテスト “キーワード 30” 1

【出題範囲】言語の種類／言語の系統概説／世界の諸言語（1）／世界の諸言語（2）／一般言語学／日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／理論言語学・応用言語学

1□	ある言語のもとになった一世代上の言語を（ ）といます。	祖語
2□	（ ）は、フィリピンで話されている言語です。	タガログ語
3□	（ ）とは、話し手が話している途中でその先まで予測して、それを話し手が言う前に先取りをして聞き手が言うてしまうことです。	先取り発話
4□	（ ）は、語族の中で最も勢力の大きなもので、ヨーロッパのほぼ全域から南インド、さらにはロシアの極東地域まで広く分布しています。	インド・ヨーロッパ語族
5□	文中のある特定の語と同要素を持つ語との関係を（ ）といます。	範列的關係
6□	文の構成素を大きなまとまりごとに2つずつに分けていくことによって、文の階層構造を視覚的に明らかにしていく分析法を（ ）といます。	直接構成素分析
7□	近い将来その言語の使い手を失うことで消滅していくことが予想される言語を（ ）といます。	危機言語
8□	男性名詞や女性名詞といった文法的な性を（ ）と言います。	ジェンダー
9□	中国語は、4つの声調（別名（ ））を持った声調言語（トーン・ランゲージ）です。	四声
10□	英語は、音の強弱によって語の意味を弁別する（ ）です。	強弱アクセント
11□	文法範疇によって表された樹形図を（ ）といます。	句構造標識
12□	語彙が文中で変形することなく、それぞれが独立して並ぶことによって文を形成する言語を（ ）といます。	孤立語
13□	（ ）とは、話し手と発話される場面との関係によって指示する内容が決定される言語表現のことで、直示とも言われています。	ダイクシス
14□	タイ語の正書法は、（ ）と呼ばれる独特な文字を採用しています。	タイ文字
15□	韓国語の子音には、無気音の平音、有気音の激音、無気音でかつ声門を著しく緊張させて発音する（ ）の3種類があります。	濃音
16□	（ ）は、中国から東南アジアに分布しており、中国語、ビルマ語などがこれに含まれます。	シナ・チベット語族

17□	()とは、話し手が発話している最中に聞き手が割り込んで発話することです。	割り込み発話
18□	インドネシア語の特徴として、同じ音を繰り返す()が多いことがあげられます。	畳語
19□	ソシールは、言語が指し示すものとそれを示す言語記号の間には必然的な結びつきはないことを見出し、これを言語の()と呼びました。	恣意性
20□	自立語の語幹に接辞がついたり、自立語同士を付属語がつなげることで文を構成する言語を()といいます。	膠着語
21□	1956年、()は生成文法理論を発表しました。	チョムスキー
22□	ベトナム語では、「()」と呼ばれるローマ字に声調を表わす補助記号をつけた文字が用いられています。	クオック・グー
23□	韓国語は、その場の関係や状況に関係なく目上の人には常に敬語を使う()です。	絶対敬語
24□	他の言語との歴史的関係がないかあるいは不明な言語を()と言います。	孤立言語
25□	言語は伝えたい情報を一度に相手に送ることはできず、文という手段によって芽づる式に相手に情報を伝達します。これを言語の()といいます。	線条性
26□	()とは、句の構成に関する規則性をとらえようとする規則です。	句構造規則
27□	中国大陸では1956年に画数が少ない()を導入しました。	簡体字
28□	ポルトガル語は、主にポルトガルと()およびアフリカの旧ポルトガル植民地諸国で話されている言語です。	ブラジル
29□	言語類型論()とは、多種多様な言語を、それらの持つ形式的特徴に基づいて分類することによって、言語の多様性と普遍性を追究する学問分野です。	タイポロジー
30□	言語の様々な特徴から総合的に判断した、2言語間の類似度を()と言います。	言語間距離